

# ハーモニー



伊奈病院は  
(財)日本医療機能評価機構の  
認定病院です

## 理念

私たちは、安全で質の高い医療を提供し、患者さまに信頼される病院をめざします。  
理念の実行方法

1. 私たちは、十分な説明と同意に基づく分かりやすい医療を実践します。
2. 私たちは、自己研鑽に努め、職員が一体となったチーム医療を実践します。
3. 私たちは、患者さまの意思・権利・プライバシーを尊重し、思いやりのある医療を実践します。
4. 私たちは、地域に信頼される病院を目指すとともに、職員としての誇りを持てる職場を作ります。
5. 私たちは、健全で効率的な病院経営基盤を確立し、地域の基幹病院としての使命を遂行します。

## 新しい職員の紹介

皮膚科医師 濱出 洋平



今年の4月より皮膚科に勤務しております濱出洋平と申します。北海道大学卒業後、北海道内で勤務し、北陸新幹線の恩恵を受けて実家の近くとなった当地に参りました。埼玉は初めて住む地で、来てから早速花粉症が発症しましたが、それ以外は楽しく過ごしております。カレーが好きで、北海道にいたときによく通っていた「心」というスーパーカー屋がこちらにもあり(8月のリニューアルオープンまで休業中)、再会を楽しみにしています。

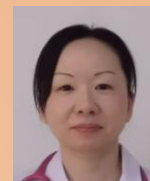
皮膚科についてですが、多くの患者さんは湿疹(なんらかの刺激により皮膚の赤みやかゆみなどの炎症症状がでること)で受診されます。塗り薬や飲み薬を使うこと以外に大事なことは、搔かないこと(刺激しないこと)です。搔いてしまうと一時はすっきりしても、症状は悪くなります。かゆくて搔いてしまうのは仕方がない面もあるので、そうなる前にしっかりとかゆみを抑える薬の使用が大事です。また、かゆいところを氷などで適度に冷やすこと、入浴はぬるま湯で、体を洗うときは石鹸などの泡をのせて優しく手でなでる程度に洗うこと、辛い食べ物やお酒などは控えること、乾燥が強いときは保湿剤を1日何回でもこまめに塗ることも重要です。

出来ることには限りがありますが、非常勤の川添先生と2人体制で、可能な検査・治療等ができるだけ行っていきたくて考えています。地域の皮膚科医療を守るべく頑張っていますので、どうぞよろしくお願いたします。

# 世界の医療団日本の活動について

(特定非営利活動法人 メドゥサン・デュ・モンド ジャポン)

小児科医師 早川 依里子



私が理事として関わる「メドゥサン・デュ・モンド ジャポン 世界の医療団日本」が活動を展開しているラオスは周辺国と比べても医療事情がより厳しく、5歳未満の乳幼児死亡率が2015年において1000人（死産を除く）あたり66.7人と依然として高い状態が続いており（ちなみに日本は同年のデータで1000人あたり2.7人です）日本とは違い肺炎や下痢で亡くなる子が後を絶ちません。

そのため当団体では、医療スタッフを対象とする「医療保健人材育成」、活動地域の村落健康普及ボランティアを育成し、家庭レベルでの健康知識の普及・啓発活動を行う「村落への啓発活動」、住民の医療費負担の軽減を図るため保健省医療費減免政策に資金援助を行うと共に、現地保健当局やパートナー団体との連携を深め、政策を継続的に実施できるようにする「5歳未満児医療費減免」、医療施設の衛生状態を改善するため水道設備を整備し、最低限の小児医療備品・機器を配置する「医療基盤整備」が4本の柱となる活動をラオス南部で行いました。私は年に2回、現地での医療スタッフに対する小児科研修及び実施指導を担いました。現在はプロジェクト終了後のフォローアップを行うため、定期的に現地に赴いています。

また当団体では海外だけでなく日本国内でも活動しています。4月には熊本で大きな地震が発生し、現在も様々な不便を伴いストレスが多い生活を余儀なくされている人々



がたくさんいます。

当団体では「子どもとその家族のためのケア」活動を行っています。すべての子ども達が必要な保健医療サービスを受けられるようになることを目指し微力ながら、できることを今後も継続していけたらと思っています。



©MdM Japon

# 連載 「骨が強くなる話」

## その5 骨密度検査について

こつしょうしょう

伊奈病院骨粗鬆症リエゾンサービス委員会

伊奈病院 放射線科主任 白石 圭

この連載では、骨粗しょう症について、「**栄養**」「**運動**」「**くすり**」について、それぞれ専門家のお話しを掲載して参りました。

今回は **骨のつよさ** を知るための **検査** についてお話しします。

困ったことに、**骨粗しょう症には自覚症状がありません!** 見えないところで進行し、どんどん骨が弱くなります。

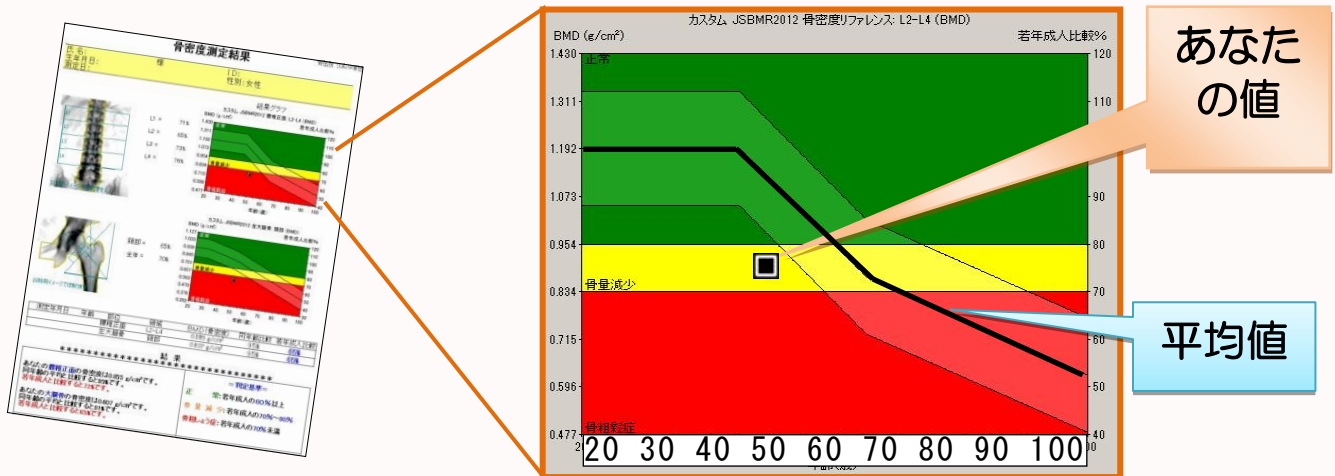
腰や背中が曲がったり、痛みが出てきたりし、ついにはちょっとした事で骨折をしてしまう、**スカスカの骨** になってしまうのです。

当院では、そんな私たちの骨の状態を知ることができる、最新型の骨密度測定装置を導入しております。

検査は、**10分ほどベッドに寝て頂くだけ**の、とても簡単なものです。ごく微量のX線を使いますが、レントゲン撮影よりもとても少ない量ですので安心です。痛みも全くありません。



GE社の 骨密度測定装置  
**PRODIGY Advance**



検査結果票の **■** が、あなたの計測値です。縦軸が骨密度、横軸が年齢です。測定値から横にラインを伸ばして平均値（3本ラインの真ん中の線）に交わったところがあなたの骨年齢です。（上図内、点線参照）

上図の場合は、患者さんは50才ですが、骨年齢は65才くらいということになります。

**70才以上で一度も骨密度検査をされていない方、最近背中が丸くなってきた、背が低くなってきたという方は、整形外科外来で相談してみてもいいかもしれません。**

次回は、血液検査についてです。

## 放射線の窓 No.5

放射線科 岩切 翔次郎

今回は、乳がんについてお話ししたいと思います。

乳がんは、乳房の中にある乳腺に発生する悪性腫瘍です。現在、日本人女性の12人に1人がかかるといわれており、30代から増加し40代後半で罹患のピークを迎えます。また女性の壮年層（30～64歳）のがん死亡原因のトップであり、1年間で1万2千人以上の方が乳がんで亡くなっています。

現在乳がんの予防法はありませんが、早期発見・早期治療であれば90%の方が治癒できるといわれています。乳がんでの死亡を減らすために厚生労働省では、40歳以上の女性を対象に2年に1回乳がん検診（触診+マンモグラフィ）を勧めています。

マンモグラフィは、乳房専用のレントゲンで、圧迫板で乳房を挟み込み平らにして撮影します。平らにするときに痛みを感じることもあるかもしれませんが、その時は我慢せずに、技師に「痛い！」と伝えてください。受診の時期を工夫すると痛みを軽減できます。月経から一週間後の、乳房の張りや痛みがない時期がおすすめです。

乳がん発見が早ければ早いほど体への負担は軽くすみ、治療費の負担も少なくなります。**身体的・経済的にも早期発見は大切です！**「早期」で見つけるには定期的な検査が重要です。

伊奈町では7月より乳がん検診が始まります。当院は「日本乳がん検診精度管理中央機構」による、撮影技術認定、施設認定、読影認定を受けております。またマンモグラフィ検査は女性技師が担当していますので、安心して検診を受けに来てください。

お問い合わせ：健康管理センター TEL 048-723-6071（直通）



## ふれあい看護の日 2016 ～災害看護を学ぶ～

5月21日に伊奈町のショッピングモールで伊奈病院主催の「ふれあい看護の日2016」が開催されました。

ナイチンゲールの誕生日である5月12日「看護の日」に合わせて毎年この時期に行われています。骨密度測定や血管年齢測定には、開始早々たくさんの方にお並びいただきました。

今年から始めた災害看護の実演と体験では、病院へ行くまでの応急処置にストッキングや段ボールなど身近な物で代用出来ると説明し実演を行いました。



体験した方からも「参考になった」との感想もいただきました。熊本地震など災害も増えており、いつ災害が起きても慌てずに行動できるように準備しておきましょう。

来年の参加もお待ちしております。



医療法人社団愛友会 伊奈病院

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 9419

TEL : 048-721-3692(代)

ホームページ :

<http://www.inahp.saitama.jp>

公式 facebook ページ : <http://www.facebook.com/inahospital>

伊奈病院  
携帯サイト

右記のQRコードより  
アクセスしてください。

<http://www.inahp.saitama.jp/mobile/>

